

石川県 高齢者インターンシップモデル事業

令和2年度 高齢者のインターンシップ報告書

株式会社 歩

1. インターンシップの目的

目的

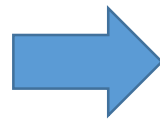
・地域における高齢者の就労促進のために、職場見学・インターンシップを実施。企業説明会だけでは伝わらない実際の就業先の様子を、事前に求職者に知ってもらい、マッチングの機会を増やしミスマッチを減らす。

実施
フロー



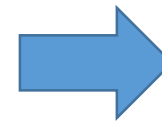
HWや県内在住のシニアの方向けに募集。就職支援セミナー・企業との交流会を開催

セミナー・マッチング
交流会



(就職意欲の高い) イベント参加者の中で、興味はあるが、すぐ応募までには至らない方向けに実施、応募を後押し

インターンシップ



最終的な条件を確認、仕事内容と労働条件のミスマッチを解消し、企業になぐ

フォローアップ

2. インターンシップの実績

形態	参加企業名	日付	職種	参加人数	就業決定
個別	(有)オール・ウェイ	7月6日	入浴補助	1名	1名
個別	医療法人社団仁智会	7月21日	介護職	2名	2名
合同	(株)セブン-イレブン・ジャパン	7月27日	コンビニ店員	5名	
合同	(株)ハニービー 神田事業所	9月17日	職業指導員	4名	
合同	日光リネンサプライ(株)	10月5日	リネン仕上げ	5名	1名
個別	(株)ハニービー 駅西新町事業所	10月7日	職業指導員	1名	
合同	(株)アクティー	2月25日	物流、倉庫スタッフ	4名	1名
合同	丸果石川中央青果(株)	2月25日	青果物荷受け作業	3名	

3. インターンシップの事例① 株式会社セブンイレブン・ジャパン

- 業種：コンビニエンスストア業
- 参加者：5名（男性4名、女性1名）
- 実施日時：7月27日（月）13時～15時
- 内容：レジ打ち体験・バックヤード見学・仕事内容紹介・活躍中のシニア紹介
- 参加者の感想：「レジ打ちが思ったより簡単だった。これならできるかも」
「活躍しているシニアスタッフの動画を見て、イメージが持てた」
- 企業側の声：「レジは昔と比べずっと扱いやすくなってきている。
実際に触れてもらうのが抵抗感を下げる第一歩。貴重な機会となった。また是非開催したい」



4. インターンシップの事例② 株式会社アクティ



- ・ 業種：物流業
- ・ 参加者：4名（全員男性）
- ・ 実施日時：2月25日（木）14時～15時
- ・ 内容：業務内容見学（フォークリフト、ピッキング）求人内容質疑応答
- ・ 参加者の感想：「想像していたよりシニアの方が多くて安心できた」
「多少の端末入力があると聞いていたが、簡単そうだった」
- ・ 企業側の声：「弊社が独自に開発したフォークリフトの運転になるので、実際に見てからご応募いただくのがミスマッチがなく、一番良いと考えている」
- ・ 応募状況：1名（男性・70代）が応募し採用となる。

5. 参加者の声（求職者・企業）

【求職者】

- ・ 実際に現場に行ってどんな方が働いているかと見れるのはとても貴重
- ・ 現場の方がにこやかに迎えてくれたので、私の年代でも働いて良いんだと思えた
- ・ 足を運んでみることで、シニアがどの程度ウエルカムなのかを肌で感じられた
- ・ 求人票で端末操作と書いてあると尻込みしてしまっていたが、触れてみると怖くないと分かった
- ・ 就業先がどのくらいの気温なのかなど気になっていたのが分かって良かった
- ・ もくもくと作業する仕事をしてみたいと思っていたが、思っていたよりスピード感があり
ついていけないかもと思った。
- ・ 実際に見てみることで、自分にもできそうと思えた

【企 業】

- ・ 弊社の業務にどんな方が興味を持ってきているのか知ることができた
- ・ 時間帯によって業務が異なってくるので、一番バタバタとしたところをお見せしてしまったかもしれないので、次回機会があれば工夫したい
- ・ 未経験者の採用は少し慎重にいきたいので、面接前に応募者とコミュニケーションが取れ良かった
（面接というかしこまった場では見れない面が事前に見れたと思う）
- ・ 人材不足が続くので少しでも弊社の業務について知ってもらえる、足を運んでもらえるのは
とてもありがたい

6. 総括

インターシップから得られた効果

- 特に異業種に就職される方にとって、応募までのギャップを減らすことができ、マッチングの機会を増やす場となった。
- 開催形態として合同型と個別型のふたつを行ったがそれぞれの利点がより明確となった。
 - 合同型・・・求職者が気軽に参加しやすく、これまで興味が薄かった業界の職業理解も進む。
 - 個別型・・・求人への興味の高い求職者がミスマッチを防ぐ目的で行うことが出来る。（自分でもできそうと思えたケースや、参加したことで自分ではできないと判断し、辞退されるケースもあった。）

インターシップ事業から見えた課題

- 企業側が受入れできる余裕があるか？
クリアできれば、インターンシップは企業側・求職者にとって有益な手段と言える。
- コロナウィルス感染症の影響
インターシップを拒否される企業もあり、今後この点もケアしながら実施していく必要がある。